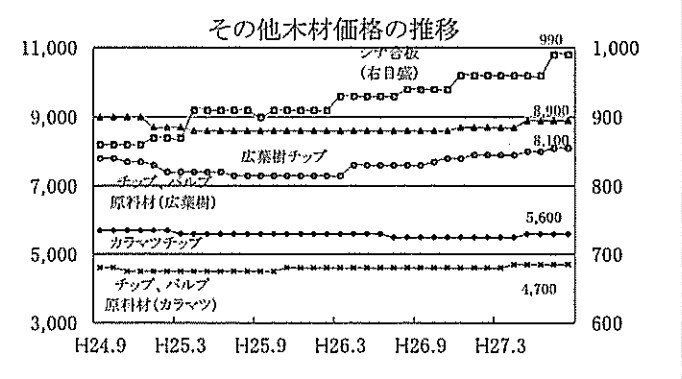
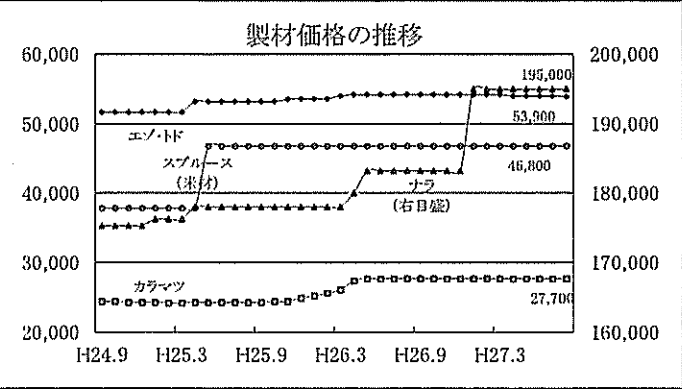
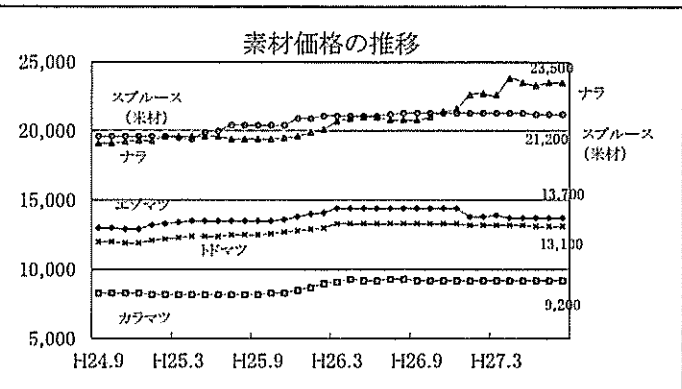


道内の木材市況概況(平成27年8月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差	市況の動向
素材	エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,700	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、引き続き各工場とも在庫に不足感なし。市況は保合。 ・カラマツ原木は、一部工場の在庫不足も解消され、全道的に不足感なし。市況は保合。 ・広葉樹原木は、品傷み時期のため出材低調。市況は保合。 (外国産材) ・米材丸太の7月の輸入量は3千 ³ m(前月0千 ³ m・前年同月4千 ³ m)。7月末港頭在荷量は17千 ³ m(前月比106%・前年同月比90%)。
	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,100	0	
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,200	0	
	ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	23,500	0	
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,200	0	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	53,900	△100	(道産材) ・エゾ・トド製材は、荷動きが若干回復。市況は保合。 ・カラマツ製材は、梱包材・パレット材、ラミナともに荷動き低迷。梱包材・パレット材の受注残は約1週間。ラミナの価格は全道的に値下がり。市況は梱包材・パレット材は保合、ラミナは弱保合。 (住宅着工戸数) ・7月の新設住宅着工戸数は前年同月比115%。 (外国産材) ・米材製材の7月の輸入量は2千 ³ mで前月比101%、前年同月比158%。7月末港頭在荷量8千 ³ mで前月比111%・前年同月比97%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	27,700	0	
	ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0	
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込	港頭オントラ	46,800	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	990	0	・市況は保合
チップ、パルプ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	4,700	0	・チップ・パルプ原料材は、保合。 ・チップは、保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,100	0	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	5,600	0	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	8,900	0	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、当該調査月に当該調査品目の取引がなかったことを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。